

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第4回津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本計画策定検討会議		
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802 (直通)		
開催日時		令和6年11月28日(木) 午後3時～4時45分		
開催場所		緑区合同庁舎5階会議室A・B		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	12人(区政策課長、津久井まちづくりセンター所長他10人)		
	運営等支援 業務受託者	2人(株式会社三菱総合研究所)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	3人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 前回の振返り (2) 機能配置イメージ (3) 市民活動機能の管理・運営の役割分担イメージ 3 その他 4 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言 ●は事務局の発言)

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開の確認を行った。また、傍聴希望者3名の傍聴許可について伺い、承認された。

2 議題

志村座長の進行により、議事が進められた。

(2) 機能配置イメージ

○総合事務所、保健センターの窓口・事務室、図書室を所管する公民館の窓口・事務室が1階に配置され、その近くに図書室スペースがある想定という認識で良いか。(高井委員)

●そのような想定で窓口・事務室機能、交流機能、医療機能が1階におさまるかどうかをシュミレーションするために作成したイメージである。

○実際、公民館の窓口・事務室と図書室スペースが隣り合っていて、すぐにやりとりができる配置関係にあるとありがたい。貸室は、鍵の貸し借りはあるが、事務室と階数が異なっても特に問題はないと考える。(高井委員)

○土砂災害を考慮して高さ400mm程度の塀を検討しているということだが、塀は連続したものでないといけないのか。塀の設置が検討されているエリア側から現状は敷地内に入出入りすることが可能であり、その動線を維持できると使い勝手が良いと思うが、技術的に可能なものなのか。(久保委員)

●土砂災害対策と考えると塀は連続したものと想定するが、技術的に可能かどうかは設計等の段階で詳細を確認していくものと考えている。

○塀は400mm程度の高さがあれば対策として問題ないかと思われるが、連続したものとするかどうかは、例えば土嚢を積む等、ある程度自由な対応ができると良いと思うので今後確認をお願いしたい。(志村座長)

○吹き抜けを想定したイメージになっているがその分の面積が勿体ないのはいいか、また、火災を想定した場合、吹き抜けであることがデメリットになるのではないか。(久保委員)

●ホールの天井高が高いこともあり、その上が吹き抜けのイメージで作成されているが、最終的には事業者の意見等も踏まえて検討していくことになるかと考えている。ご指摘の点は今後の検討でも留意していきたい。

○火災の面については、スプリンクラーの設置等による対応とする可能性もあると思われる。(志村座長)

○遠方から登校する児童は自家用車での送迎が必要であり、迎えの時間帯である15～16時頃に車が多く見られる。地域の拠点として人が集まる施設という面から考えると、駐車場スペースは増やしてほしい。（上田委員）

●駐車場スペースは、現行と同等以上で想定している。少しでも駐車場スペースを確保できないかは検討しているが、敷地面積を踏まえて可能な範囲での整備になるものと考えている。

○現状で実際に何台駐車可能であるかを踏まえた上で、計画上どの程度確保できるかの検討が必要であると思われる。

本施設のみで解決を図るのではなく、交通政策として総合的に考えていく必要があると思われる。今後も自家用車の利用がメインとなることを前提に検討していくのは、これからの時代にそぐわないとも思える。（志村座長）

●現状の駐車台数は69台となっている。

○中学校では不登校の生徒への対応や、放課後の勉強会などの対応をしているが、複合施設に中学生の居場所のような場があると良いと思う。（上田委員）

○本施設の想定規模5,000㎡の中で機能をいかに配置するかを検討しており、本施設だけで対応することを想定するのみならず、近隣の学校で空いたスペースを上手く活用することなどができると良く、引き続き横断的に検討する必要があると考える。（志村座長）

○小学生の送り迎えが多いが、車がUターンできるスペースを考慮しておいてほしい。（熊谷委員）

○今後の設計等の条件となるものについては丁寧に整理しておく必要があると思われる。（志村座長）

●駐車場や広場、車両の転回スペースなどに係る留意事項については、優先順位も意識しながら整理をしていきたい。

○商店街に抜ける道については幅員も狭いので通り抜けは厳しいと思われる。（熊谷委員）

○施設間の連携を期待して設計したものの、運営段階で連携が進んでいない事例をよく見る。なるべくニーズを把握して、施設間での調整をしておくべきと考える。小学校の駐車場ニーズが高いのであれば、小学校からの使い勝手を踏まえつつも、例えば交通政策の一環としてスクールバスを走らせるなど、複数の視点から検討できると良いと考える。（朝日委員）

○料理実習室などは匂いが生じるため工夫が必要であると考え。オープンなスペースで飲食をする場合も匂いは気になる点かと思われる。（朝日委員）

- 一般的には見通しが良い方が管理しやすく、交流機能が見通せるように、また、運営する者を配置する場所にも配慮するのが良いと考える。(朝日委員)
- 吹き抜けの話があったが、環境性能も求められると思うので、そういった点でうまく活用する方法などを事業者からの提案として受けられるようにしておくのが良いと考える。(朝日委員)
- 今後に向けて、性能要件を書き出すことが重要だと思われる。省エネ、環境負荷の低減、施設の視認性など、使い勝手がポイントになると思われるので、今後うまくつながられるように整理しておきたい。(志村座長)

- ホールは防音性能を確保すると思うが、同じフロアの保健機能は療育相談を想定していると思うので、音への配慮が必要になると思われる。(吉野委員)
- 音の影響について、同じ階でも問題が生じないのかなど所管課も含めて継続的に検討を進めたい。

- メディカルセンターが1階に配置されているが、スペース活用の観点でこうしたイメージで本当に良いのか今後も検討が必要ではないか。
医療機能は休日に稼働するが、休日もオープンしている交流スペースと連携するような方向性は考えられないものか。(志村座長)
- 医療機能の2階への配置の可能性や、スペースの有効活用の可能性等については医療部門と議論しているが、重度の患者の利用は少ないが救急搬送するパターンもあり、専用のエレベータを設け、かつ、ストレッチャーが入る規模とすることが必要になると思われる。これらを踏まえると、医療機能は1階に配置する方向になるものと想定している。
- メディカルセンターの利用者の待合スペースは、医療機能の想定規模の中に含まれている想定か。(志村座長)
- そのように想定している。
- スペースの有効活用については引き続き検討をお願いしたい。まだ確定していない部分は検討課題として整理しておきたい。(志村座長)

(3) 市民活動機能の管理・運営の役割分担イメージ

- 現状、公民館の貸室は団体登録の上、有料で利用されているが、再整備後の想定についてはどう考えているのか。(久保委員)
- 現在の在り方が基本になると考えている。公民館の貸室は有料である一方、無料で利用できる貸室の在り方は兼ね合いを検討する必要があり課題となっている。児童室については現在無料で利用可能な部屋だが、交流スペースとしてオープンな空間にして利用するようなイメージを検討している。

- 夜間や早朝など時間的に柔軟に利用できると、使いやすい施設になると思うので、その点では民間事業者による運営ができると良い。（久保委員）
- 運営に民間事業者に参加してもらうようにするには採算性の点が課題と捉えている。
- 柔軟な運営が期待できる一方で、利用料金が高くなることも考えられる。市の関与の程度と、メリット・デメリットを踏まえて判断することになるのではないかと。（志村座長）

- 民生委員として、老人福祉センターの貸室を借りて読み聞かせボランティアの活動を行っており、引き続き、活動の場として利用できるようにしてほしい。（上田委員）
- 地域での福祉サービスを担っていただいておりますが、サービス低下につながらないよう配慮が必要であると思う。こうした点も性能要件として洗い出しておく必要があると考える。（志村座長）
- 交流スペースとしてオープンな空間を設ける想定であるが、こうしたスペースを利用して読み聞かせをする想定も考えられないか。
- 子どもの場合、例えば急に走り出したりすることもあるなど、オープンな空間では配慮も必要になると思うが、そうした空間も活用して活動を展開していけたら良いと思う。（上田委員）
- オープンな空間を市民に利用してもらうことで活動の姿が実際に見えるのは非常に有効であり、活用してもらえると良いと思う。（志村座長）

- 担い手の育成が非常に重要だと考えている。施設運営まで見据えた提案をしてもらった場合でも、建築意匠に見合うような運営ができる民間事業者が実際に出てくるかが課題となったような事例もある。建物の持ち腐れにならないように、運営の担い手も見据えて検討する必要があると思われる。一方で、運営に力点を置きすぎると民間事業者が参画しづらい可能性も出てくる。運営をどの程度のレベルまで実施してもらうのか、よく検討する必要があると思われる。（朝日委員）
- 人材育成まで含めて民間事業者に提案してもらうのはハードルが高いが、地域への投資という意味でも大事な視点だと思う。（朝日委員）
- 例えば、行政の会議を広場で行うなどして、市民の目に触れるようにするのも場の活用手段としてありうるのではないかと。（志村座長）
- エリアマネジメントの観点から、学校、あぐりんずつくいなど、周辺を巻き込んだ活動を民間事業者に展開してもらえると良いのではないかと。（志村座長）

○小学校の空き教室の活用を想定する場合、学校長の裁量にもなると思うが、学校を巻き込んでマネジメントできると柔軟な連携ができるのではないかと思われる。要件の一つとして整理して施設の在り方を検討してもらえればと思う。

(吉野委員)

○事業期間中において全て民間事業者任せではなく、毎年ごと業務内容の見直しを行うなど市の主導的な調整が必要になるのではないか。(志村座長)

○公民館と老人福祉センターは、同じ建物だが利用時間が異なることが現在の課題である。公民館と老人福祉センターを統合したうえで、民間事業者が一体的に運営できるようになると良いと思われる。(高井委員)

○縦割りのままどううまくいかないのか、民間事業者に一体で任せた方が良いという考えもあるが、既存の利用者の使い勝手が悪くならないように配慮は必要である。(志村座長)

○空き部屋をいかに稼働させるかの管理は民間事業者の得意分野だと思われる。行政のルールに縛られる部分もあるため、民間事業者がうまくマネジメントできるように行政として対応していく必要がある。行政と事業者が連携できる枠組みを作っていく必要があると思われる。(朝日委員)

○事業者が運営するにしても、市が運営するにしても、公民館と老人福祉センターが使いやすい仕組みを作ってほしい。(熊谷委員)

○一体的な維持管理・運営が良いが、その前提としてうまく連携できる枠組み作りが必要である。担い手育成も含めて検討をお願いしたい。(志村座長)

○工事期間中の代替施設についても検討状況に応じて今後共有いただきたい。(高井委員)

3 その他

○元タスケジュールにおいて想定もされていたと思うが、検討状況を市民に丁寧に説明していく必要があるのではないかと思う。(志村座長)

●年度末になるが、津久井中央公民館で3月1日開催予定の公民館まつりの機会を活用して現在の検討状況の説明をしてはどうかと考えている。本年3月にも実施しているが、その際はブースを設けてパネル展示をして説明していたが、内容等はこれから検討したい。

○公民館まつりの前後での展示、他の場所での説明等についても継続的に検討をお願いしたい。(志村座長)

次回の検討会議は、令和7年2月19日(水)午後3時からの開催を予定。

4 閉会

津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本計画策定検討会議
委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
学識経験者	◎志村 秀明	芝浦工業大学建築学部建築学科 教授	出席
	○朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 教授	出席
地域団体	熊谷 弘	津久井地区自治会連合会 会長	出席
	上田 亜弓	津久井地区社会福祉協議会 理事(三井・名手支部長)	出席
	高井 登志子	津久井地区公民館運営協議会 会長	出席
公募市民	久保 武史	公募市民	出席
	吉野 裕之	公募市民	出席

◎は座長、○は副座長